

2. 火山の概況

(平成 17 年 1 月 13 日 ～ 平成 17 年 1 月 19 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では噴煙活動が継続し、火映が観測された。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは 2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。

口永良部島では地震がやや多く発生した。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。

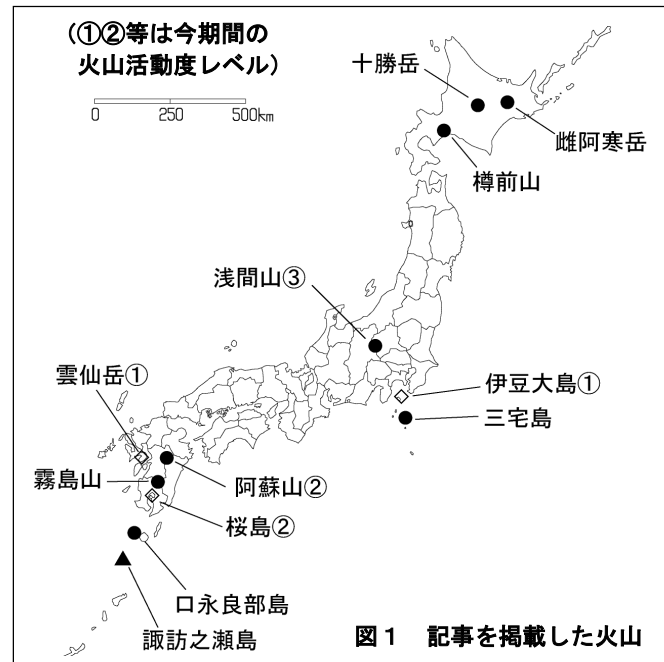


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号							
3	1/13-1/19	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	▲
2	1/6-1/12	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	▲
1	12/30-1/5	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	▲
53	12/23-12/29	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●		▲
52	12/16-12/22	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●		▲

注 1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 300m で推移した。

● 樽前山 [熱]

A 火口および B 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 浅間山 [噴煙・火映・地震・微動] レベル 3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約 400m まで上がった。火映が 13、14 及び 19 日に山麓の高感度カメラで観測された。

火山性地震は1日当たり41～72回、火山性微動は同0～7回観測された。

◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・地震]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約1,000mまで上がった。
火山性地震は1日あたり0～68回観測された。

● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動・地震] レベル2（やや活発な火山活動）

18日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は緑色、量は約6割で前回より減少し（前回1月5日は約8割）、表面温度は72℃と高い状態であった（前回は59℃）。湯だまりの中央部、西側及び南西側で噴湯現象が確認された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約300m（前期間300m）であった。

孤立型微動の発生回数は558回であった（前期間は409回）。継続時間の短い火山性微動が1回発生した（前期間は2回）。火山性地震は、14日に45回とやや多く発生した。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、13～15日及び17～18日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約200mであった。

◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかった（前期間もなし）。17日に灰白色で火口上約500mの高さの噴煙が観測されたが、噴煙活動も比較的低調であった。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

● 口永良部島 [地震・微動]

火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間も多い状態が続き、期間中の回数は78回であった（前期間は94回）。火山性微動は、今期間も引き続き継続時間の短いものが時々発生したが、期間中の回数は6回で前期間より減少した（前期間は17回）。（図2）

島内に設置した監視カメラによる観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・降灰・微動]

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、極少量の火山灰を含む噴煙が13日及び14日に火口縁上約500mまで上がっているのが確認された。13日午前及び14日に、集落（御岳の南南西約4km）で降灰があった。また、海上保安庁が13日に実施した上空からの観測によると、13時20分頃に黒っぽい噴煙が火口縁上約400mまで上がっているのが確認された。

火山性微動は、継続時間の短いものが観測されたが、今期間の回数は1回で前期間（8回）より減少した。連続微動は観測されなかった。

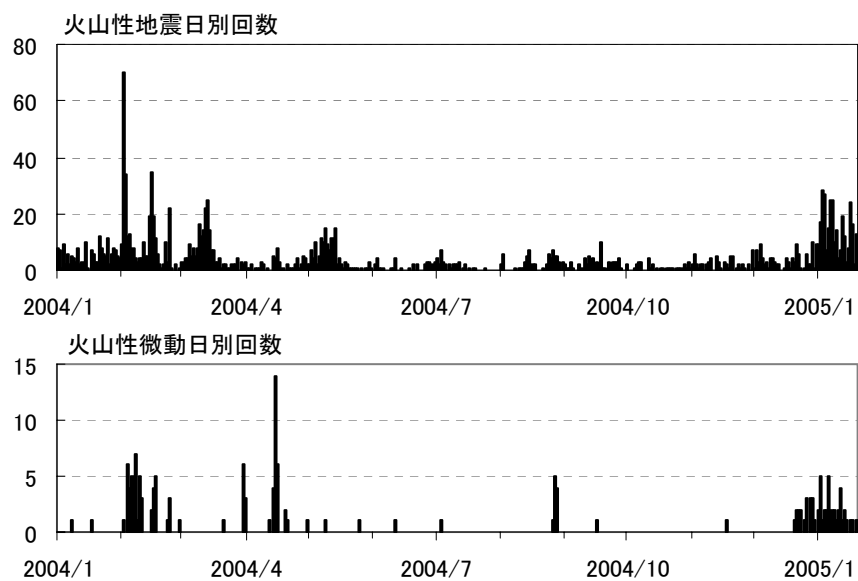


図2 口永良部島 火山性地震及び微動の日別発生回数
(2004年1月1日～2005年1月19日)

表2 火山情報発表状況

火 山 名	情報の種類及び号数	発表日時	概 要
浅 間 山	火山観測情報第13号	13日 16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは3。
	↓（1日1回発表）	↓	
三 宅 島	火山観測情報第19号	19日 16:00	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	↓（1日2回発表）	↓	
阿 蘇 山	火山観測情報第22号	13日 09:30	火山活動は引き続きやや活発（地震やや多い）。レベルは2。
	↓（1日2回発表）	↓	
口永良部島	火山観測情報第35号	19日 16:30	やや活発な火山活動継続（地震やや多い）。
	↓（1日2回発表）	↓	
阿 蘇 山	火山観測情報第2号	14日 11:10	火山活動は引き続きやや活発（地震やや多い）。レベルは2。
	↓（1日2回発表）	↓	
口永良部島	火山観測情報第3号	14日 14:00	やや活発な火山活動継続（地震やや多い）。
	↓（1日2回発表）	↓	